

## 冬枯れの道端

強い北風が吹き  
積もる前の雪が  
すっかり飛ばされた黒い道に  
どこからか飛んできた  
数枚の若い落ち葉  
地上に落とされてためらいがちに

あと一枚だけになったカレンダー  
いろんな関わり少なくなった今は  
過ぎ去る今年の少なさ感じる

寒さにも負けずに  
冬枯れの道端の  
ここに咲く小さな花  
何ていう花かな

強い風にあおられて  
舞い上がる落ち葉が  
乾いた音を立てて転ぶ脇の  
歩道の隅っこに  
積もった古い枯葉  
行き場を失って申し訳なさそう

賑わい横目で見えるイベント  
いろんな関わり少なくなった今は  
楽しむことよりさみしさ感じる

寒さにも負けずに  
冬枯れの道端の  
ここに咲く小さな花  
何ていう花かな

けなげな姿に  
勇気づけられて  
やるべきこと見つけ  
Todo リストに

強い北風が吹き  
積もる前の雪が  
すっかり飛ばされた黒い道に  
どこからか飛んできた  
数枚の若い落ち葉  
地上に落とされてためらいがちに

## 緑のオーブ

朝5時過ぎの冬の西の空  
眩しいほどに光る満月

まだ暗い空  
藍色の中で輝く

撮った画像に映る  
小さな緑のオーブ

幾度シャッター押しても  
そのたび違うかたち  
何度でも映る奇跡の訪れ  
たとえそれが思いがけないことであっても  
きっとそのうち幸せがやってくる

いくつもの電線に支えられた  
光る雲を下から照らして

どの街灯よりも  
明るく低く輝く

そのうち雲に  
隠れる満月

職場に向かう駅までの速足を少し止めて  
モバイルのカメラのボタンを押しこむ  
なかなか閉じてくれない  
シャッターの音を聞いて  
偶然に撮れる緑のオーブ

幾度シャッター押しても  
そのたび違うかたち  
何度でも映る奇跡の訪れ  
たとえそれが思いがけないことであっても  
きっとそのうち幸せがやってくる

## 冬日和のひと日

眩しい日差しの穏やかなひと日  
ホッとつく一息 温もり感じる

張り詰めた心をほどいてくれるような  
空気に触れて ひとり街をゆく

喫茶店ふと目にして  
すわるテーブル  
運んだラテ  
浮かぶ白い模様

久しぶりに来た新大阪に泊まり  
ふた駅北にあるこの楽器店

ゆっくり喫茶店を出て正午少し前に  
遅めの開店 向かうビルの一隅

滅多に来れない店  
眺める多くの  
画像で見たギターに  
映る自分の顔

## 暮れの街

今年もあと少なく  
きらびやかに飾られた街  
光り照らされて夜の景観

これを見ている人たちの  
多くは立ち止まって  
連れ立ってながめ  
お互い幸せそうに見える

どうして自分は  
寂しくなるのだろう  
一人で早足  
立ち去ろうとしている

心のどこかで  
誰かを求めている  
閉ざしていた何かがよみがえる

これを見ている人たちの  
多くはこのひととき  
そばにいる人と微笑みを  
かわしてあっている

どうして自分は  
孤独になるのだろう  
一人で前向き  
立ち去ろうとしている

## 木枯らし

もうこれ以上ここにはいられない  
何もさえぎるものすらなくて  
ひっそり残る麦いろのエノコログサが  
一株だけ強く立つ

誰に認められなくても  
この気持ち譲れない  
だけどニーズにも  
寄り添えられていない

そこにいる資格もない  
相手されない冷たさの中  
そんなところにふく木枯らし  
冷たいだけでもない

モノトーンになった線路づたい独り歩き  
隙間だらけの線路の柵の手前の  
雨風にさらされた舗装の色が  
やけに綺麗に映っている

誰に認められなくても  
信じたことやめる気はない  
だけど見たくない  
ことも見ていない

確証バイアスかかること  
いちばん恐れていたのに  
そんなところにふく木枯らし  
冷たいだけでもない

## 孟冬の川縁

久しぶりの街  
走るシェアサイクル  
緑がなくなった  
孟冬の川縁を

橋の袂でふと足をつく  
わたる川の真ん中あたり

ゆっくりと黒く光り  
カーブしてる右の方から  
時折キラリと光る  
流れがこちらに

思い出す  
あれは5年前  
僕たちはここにいた  
もう今は  
音のない映像  
押し寄せるまぶたの裏

焦茶いろの桜の枝が  
唐草模様になもをヒビ割る

晴れていても念の為に  
つけてた手袋汗ばんで外す

背負ったリュック前に抱え  
そこから取り出すモバイル  
心に留めておきたい景色  
なぜかカメラに

その瞬間  
我にかえる  
今僕はここにいる  
もう今は  
戻らないあのこと  
引き戻される 現実に

遠くに聞こえる子供のはしゃぐ声  
重なる乾いたバイクの音と

## 誕生日には

寒い風が吹いて粉雪が  
ほんのりついた髪も一瞬で  
暖かい鍋の湯気と混じり消えて  
そしてフェイスタオル一拭きで  
それも忘れる

今日の誕生日もいつものように  
君が準備してくれたチゲ鍋で  
よくあるありふれたメニューだけど  
結局どこにも行けないからこれになったね

Ah Happy birthday to you  
いつもありがとう  
Have a fun birthday  
これからもよろしく

人生まだまだこれから先がある  
歳をとったなんて言わない  
不満揉め事小言少なめにして  
なかよくできるようにしたいね

結局積もらずに消えた雪  
その代わり木枯らし音を立てて  
開けた窓閉めた時風が高い音で  
抵抗してた割にはあっさり途切れる

今日の誕生日は特別に  
君の生まれ年の赤ワイン  
よくあるありふれたプレゼントだけど  
結局自分も飲みたいからこれにしたよ

Ah Happy birthday to you  
小さなケーキ添えて  
Have a fun birthday today  
これからもよろしく

人生まだまだこれから先がある  
歳をとったなんて言わない  
家内安全塩分控えめにして  
長生きできるようにしてね

## 聖なる夜に

★ Oh メリークリスマス・デイ  
Oh ア・メリークリスマス・トゥ・ユー  
大事な君と

Oh メリークリスマス・デイ  
Oh ア・メリークリスマス・トゥユー  
明日を迎える☆☆

街に輝くイルミネーション  
流れてくるメロディー  
お部屋にも何か飾りたくて  
小さなリースを

生まれた日ではなく誕生日をお祝いする日  
1週を残しただけの無事を祝って

Oh メリークリスマス・デイ  
Oh ア・メリークリスマス・トゥ・ユー  
大事な君と

Oh メリークリスマス・デイ  
Oh ア・メリークリスマス・トゥユー  
明日を迎える

クリスマスの色 赤と緑  
白に金銀  
赤は愛の色 緑は命  
白は清らかさ

金銀は希望と豊かさ気高さの色  
何もなかったけど 明日を夢見て

Oh メリークリスマス・デイ  
Oh ア・メリークリスマス・トゥユー  
幸せもとめて

Oh メリークリスマス・デイ  
Oh ア・メリークリスマス・トゥユー  
確かめてゆく

☆☆☆☆  
☆☆☆☆